

救急医療の利用は 正しい理解で 適正に

救急車や救急医療を、必要な人が必要な時に、安心して利用できるよう、救急医療機関や救急車の利用方法について、正しい知識を身に付け、適正に利用しましょう。

☎保健所総務課 ☎(626)1103

救急医療を本当に必要とする人が安心して治療を受けるために

私たちにできる4つのこと

ID 1026161

1 「かかりつけ医」を持つ

体の不調を感じた時は、早めにかかりつけ医に相談し、適切なアドバイスを受けましょう。

なお、自宅近くの医療機関は、とちぎ医療情報ネット URL1 で検索できます。



▲とちぎ医療情報ネット

2 できるだけ昼間の診療時間内に受診する

救急外来は、時間外に受診できる便利な医療機関ではありません。

救急医療を必要とする人が治療を受けるためのものです。

救急時以外に受診することは避けましょう。

3 夜間・休日の急な病気は夜間休日救急診療所へ

夜間や休日の緊急時、比較的軽微な症状の場合は、まず「電話相談」(15ページ参照)の利用をお願いします。夜間休日救急診療所では、応急的な処置に限られているため、翌日にはかかりつけ医を受診しましょう。

4 救急車を適正に利用する

救急車を呼ぶか迷った時は電話相談や、全国版救急受診アプリ「Q助」 URL2 を利用しましょう。また、「救急車を利用すればすぐ病院に行ける」などの安易な利用はやめましょう。



▲全国版救急受診アプリ「Q助」



もしもに備えて



AEDで救える命があります

ID 1030363

☎保健所総務課 ☎(626)1104

AEDは、自動的に心電図を調べて、電気ショックが必要か否かを判断し、音声メッセージで必要な対応を指示してくれるので、誰でも簡単・確実に操作することができます。AEDで助かる命があります。勇気をもって行動しましょう。

また、日ごろから、よく利用する施設のAED設置状況を確認しておきましょう。



救急受診の手引き

ID 1004350

☎保健所総務課 ☎(626)1104

救急受診の手引きでは、救急医療や救急車を適正に利用していただけるよう、普段から心掛けておくことや、夜間・休日に子どもが急な病気やけがをした時に、どのような対応をするのかを分かりやすく解説しています。

保健所などに置いてある他、市庁からもご覧になれますので、ご活用ください。



救急の日・救急医療週間イベント2023

☎保健所総務課 ☎(626)1103

ID 1027361

- ▼日時 9月9日(土)午後1時～3時。
- ▼会場 保健所(竹林町)。
- ▼内容 「ECMOへ繋げ！救命の連鎖」と題した、小倉崇以さん(済生会宇都宮病院救急救命センター長)による講話、「親子で学ぶ蘇生・AED講習会」と題した、増田典弘さん(NHO宇都宮病院副院長)による講話・講習、ドクターカーなどの展示、AED講習などの市民参加コーナー。
- ▼対象 市内在住者。
- ▼その他 講話・講習は事前申し込み制。その他は当日参加できます。詳しくは、市庁をご覧ください。

芳賀・宇都宮LRT開業記念 西消防署救急フェア

☎西消防署 ☎(647)0119

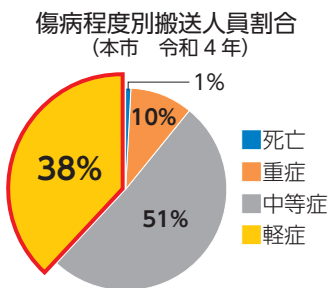
ID 1021083

- ▼日時 9月9日(土)午前9時30分～11時30分。
- ▼会場 西消防署(鶴田2丁目)。
- ▼内容 親子で学ぶ「心肺蘇生法とAED使用法」、「キッズ隊員なりきり記念撮影」、「ミニ救急車・ミニ消防車」の搭乗体験など。
- ▼その他 詳しくは、市庁をご覧ください。

救急患者が発生した場合は、すぐに救急車を呼ぶべき？

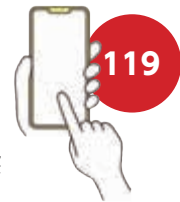
救急搬送の4割近くが軽症の患者

令和4年の本市の救急出動は2万4,684件、1日の平均は67.6件でした。救急搬送された人の4割近くの人が「入院を必要としない軽症の患者」です(右のグラフ参照)。
 私たちにできる4つのこと(14ページ参照)を参考に、救急車を適正に利用しましょう。



119番にかけるのはこんな時

- ▼突然うまく話せなくなる。
 - ▼突然の激しい頭痛。
 - ▼胸が圧迫されるように痛む。
 - ▼意識や呼吸がない。
 - ▼交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた。
 - ▼大出血をしている、血を吐いたなど。
- 119番にかけた時は、慌てず正確に、通信指令員の質問に答えてください。



※緊急時に、通報者が撮影した現場の様子を救急隊とリアルタイムで共有できる「Live119 現場通報システム」をご活用ください。ID 1021354

救急車の適正な利用を

救急患者の症状(軽症・重症等・重篤の3段階)によって、救急医療機関が分かれています。下の図を参考に、症状に合わせて、①電話相談②外来診療③救急搬送を適正に利用しましょう。

市救急医療体制

